

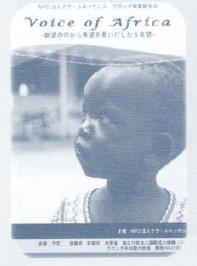
2009年9月号

発行: テラ・ルネッサンス 発行日: 2009 年 9 月 1 日

「結晶ができる時、最初にうまれる結晶。それが結晶母。結晶母の周りに同じ形をした元素が集まって、ひとつの大きな結晶をつくる。 ひとつひとつの結晶は小さくても、結晶母を中心に集まった大きな結晶のネットワークは強く、たくましい。 そんな大事な結晶母の役割を、地球に住むひとり一ひとりが果たせたら・・・」

こんな思いから名付けられたテラ・ルネッサンスの機関誌『結晶母』も、2002年の第1号発行からはや7年目。 今後も、『結晶母』、そしてテラ・ルネッサンスへの、みなさまからのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。





上:ウガンダ事業報告会(2009年7月4日 於:京都)終了後の当日 スタッフ集合写真

中:熱心に講演者の話に耳を傾ける講演会参加者の皆様

下:ウガンダ事業報告会 Voice of Africa 広報用チラシ (男の子は、当会の受益者の元少女兵の子ども、「マサヤ」君)

Contents

p.2-3 Voice of Africa 特集

p.4 カンボジア・ラオス事業報告

p.5 ウガンダ・コンゴ事業報告

p.6 あくていびてい・れぽーと

p.7 ふえいす to ふえいす

p.8 てらるね手帳

Voice of Africa 特集

2009 年 6 月 14 日から 7 月 13 日までウガンダ駐在代表の小川真吾が一時帰国し、6 月 16 日から 8 月 3 日までウガンダ現地スタッフのトシャ・マギーが、そして 6 月 16 日から 6 月 26 日まではジミー・オテマが来日しました。その間に、日本各地で<u>ウガンダ事業報告会(Voice of Africa)</u>を開催させていただきました。各地での報告会のご報告をさせていただきます(ひぐち)。

佐賀: 社団法人佐賀法人会 TEAM シロクマ様主催 (7/11)

鹿児島: 平和 NGO「地雷ゼロ鹿児島」様主催(7/12)

長崎: CLC 長崎様・えことびい長崎様共催 (7/18) それぞれ約80名様前後参加

佐賀、鹿児島、長崎では、それぞれテラ・ルネッサンスを設立当初からご支援くださっている皆様が、トシャ・マギーの話をぜひ地元の人へ聞かせたいと報告会を開催くださいました。

地域に根ざした国際貢献を目指している当会としては、とても有難い報告会 となりました。 名古屋: さかい税理士事務所様主催(7/18)約100名様参加

当会会員の酒井様が、中日 新聞に掲載されたトシャ・マギーのインタビュー記事 を読んで、自分にできることをやろうと、報告会を実施してくださいました。

当日は、愛知県東部地域から約 100 名もの方がご参加くださいました。

青森:宗教法人松緑神道大和山 様主催(6/18)

約 1100 名様参加

当会がウガンダでの元子ども兵社会 復帰支援を開始した時からの支援者 である松緑神道大和山様。

特に婦人会の皆様が、20名の元子ども兵の里親として社会復帰のために支援を3年間続けてくださいました。

その成果を報告する大会を開催し、全国から約 1100 名もの方が集結し、自分たちの支援の成果を実感しておられました。

また、会場内でテラ・ルネッサンス支援のバザーを開催するなど、引き続き 積極的なご支援をくださっています。

東京: テラ・ルネッサンス主催 (6/18) 61 名様参加

急な告知だったにもかかわらず、予約なしの当日参加も含め、予想より多くの方に来ていただき、急きょ追加の席を用意することになりました。

東京:希望の光実行委員会様主催(8/1)約200名様参加

テラ・ルネッサンスの設立当初からの支援者の皆さんが結成した「希望の 光実行委員会」。当会への支援の輪を広げるために、秋田・青森・北海道 と各地でセミナーを開催し、その集大成として、トシャや理事長を招いて の報告会を開催。岡田多母理事も友情出演され、平和について、静かに考 える素敵な報告会となりました。

京都: テラ・ルネッサンス主催(7/4) 172名様参加、12名様当日ボランティア

京都の報告会は当会が主催し、①多くの方にウガンダのこと、テラ・ルネのことを知ってもらう、②多くの方にボランティアとして活躍してもらう場を設ける、の2つを目標に準備を進めました。

②のために、4月から事務所にて幾度か実行委員会を開いてボランティアの方に集まっていただき、講演会の企画・広報・準備の段階から報告会に携わっていただきました。当日も、12名のボランティアの方に集まっていただき、報告会の運営に協力していただきました。ボランティアの方に後日書いていただいたアンケートからは、「いい経験になった」、「来年から社会人になっても自分にできることをどんどん続けていきたいと思った」といったご意見をいただき、概ね②の目標は達成できたように思います。

また、①に関しても、172 名もの方に講演会に参加していただくことができたため、目標は達成できたと思います。講演会の内容は、小川の講演、トシャの講演、そして当会が作成したウガンダ/子ども兵に関する映像の上映だったのですが、特に今回が初めてとなる映像の上映に関しては、当日回収しましたアンケートからも、ほとんど方に高く評価していただけたようです。2人の講演に関しても、「2人の熱意が伝わった」、「勉強になった」、「子ども兵のリアルな実態を知り、問題を実感できた」、「感銘して、自分には何ができるか考えさせられた」など、感じ方は人それぞれですが、参加者の多くの方には、講演会から何かを得ていただける機会になったのではないかなと思います。

トシャ・マギーから会員の皆様へのメッセージ

I am spending my every day life with perpire who are affected by Conflict.

And most of them are children.

They have suffred alot but at the same time they manage to smile every day it is amaizing. Every day of my life Hean new things from them.

When I see the smile on their faces it gives me strengths every day.

There leaned the importance of the beautiful smile.

and those recovered that happiness is within every one is heard.

We can all be happy.

I with you all happiness and hope.
Please don't sorget to smile every day.
And never give up any thing is possible.
Hugs and Kisses to your happy hearts all.
From:

Tosha Maggie.

【日本語訳】

私は紛争によって影響を受けた人たちと毎日を過ごしています。 その多くは子どもたちです。

多くの苦しみをかかえていますが、同時に、毎日何とか笑おうとしています。 これは驚くべきことです。

私はその子たちから、日々、新しいことを学んでいるのです。

その子たちの笑顔をみることで、力強 くなれるのです。

私は美しい笑顔の大切さを学び、そして、幸せはそれぞれみんなの心の中にあるということを学びました。

私たちはみな幸せになれるのです。

会員の皆様に幸せと希望がもたらされることを心からお祈りいたします。 毎日笑うことを忘れないでください。 そして、あきらめないでください。 何でもやればできるのです。

親愛をこめて。

トシャ・マギー

トシャ・マギー (Tosha Maggy)

NPO 法人 テラ・ルネッサンス ウガンダ事務所職員

幼い頃に母親を亡くし、父親に育てられたが、7歳の時にブルンジ内戦における 虐殺で、父親が殺害され、兄弟も行方不明となる。

難民として、コンゴ・タンザニア・ケニアと渡り歩き、13歳の時にウガンダへ。 2005年にテラ・ルネッサンスと出会い、その理念に共鳴し、職員となる。



各地での報告会の様子



6月18日、東京報告会において報告する当会ウガンダ 事務局職員ジミー



6月21日、青森、宗教法人松緑神道大和山様主催の報告会において報告する当会ウガンダ事務局職員トシャと、通訳する当会ウガンダ駐在代表小川

【カンボジア】村全体での初の共同作業 ―サムロン・チェイ村橋建設プロジェクトー

昨年穂高小学校を建設したサムロン・チェイ村では、小学校建設へご寄付下さった 株式会社穂高住販様のご寄付で、6月から村へ通じる2本の橋の建設が始まりました。 それまでは、国道から村へと繋がる道にかかる2本の橋が壊れており、車が通過でき ないために、農産物を安く買いたたかれていました。そこで、橋建設の資材費と建築 家を雇う費用をテラ・ルネッサンスが負担し、労働力は村人が賄うことで、2本の橋建 設が始まりました。

村人たちは比較的裕福な層と貧困層に分かれ、裕福な層がお金を出し合い、貧困層を労働者として雇うことで建設が始まりました。村人たちが1日50人体制で2本の橋の建設を同時進行で進めたため、予定していたよりも早く橋は完成しました。トラックも通れるコンクリート製の橋のため、農産物を街へ売りに行くのも買いに来ることも簡単になります。橋の建設は村人たちが最も望んでいたことだったので、労働者として働いた村人たちも皆、とても嬉しそうでした。

株式会社穂高住販 http://www.hodaka-j.co.jp/





上:橋建設作業の様子 下:完成したコンクリートの橋

【カンボジア】笑顔の戻った村人たち ―オッチョンボック村村落開発支援プロジェクト―

昨年の天候不順による不作によって、厳しい生活を強いられているオッチョンボック村の村 人たちに笑顔が戻ってきました。理由はいくつかあります。まず昨年7月より実施されて いた当会の提携する地雷撤去団体 MAG による地雷撤去が今年5月で完了し、安全に なった土地で栽培する作物の状況が良好で、現在、収穫時期を迎えているのです。 また、地雷の被害からの生存者であるチョン・トーンさんへの散髪の職業訓練が6月から

▲江角駐在員を散発するトーンさん 開始されました。散髪の練習台となるのは、村人たちの実際の"頭"です。村に散髪屋さんがないことから、安く自分の村で髪を切ることができるのは、村人にとってとても嬉しいことです。村人たちの協力もあって、順調に技術を身につけたトーンさんは、少しずつ村人からお金をもらうことができるぐらいに上達してきました。訓練をしてきたスタッフのニャンは、「あと2週間訓練すれば、一人前になれるだろう」と太鼓判を押します。一昨年にお腹の手術をしたトーンさんは、借金があったり、昨年の作物の不作などによって、いつも会うと眉間にしわを寄せていて無愛想でしたが、髪を切る技術訓練を受けるようになって、とても楽しそうに見え、笑顔も見られるようになりました。

【ラオス】モン族の村にできた中学校-カンパニオン村中学校建設プロジェクト—

昨年末からラオス、シェンクアン県において不発弾撤去と、撤去後の土地に中学校を建てるプロジェクトを実施しています。順調に不発弾撤去は終わり、今年の2月からは中学校の建設が始まっていました。こちらも順調に進んで、予定通り5月末までに完成しました。6月~8月まで3ヶ月間この村の学校は休みになるため、実際に開校するのは9月になります。その始業の9月1日には、不発弾撤去から中学校建設までの一貫したプロジェクトにご寄付下さったプレマ株式会社の社員旅行もかねて、中川代表取締役を始め、社員の方にも参加していただいての開校式を開催する予定です。(えずみ)



▲完成した中学校の外観

【ウガンダ】社会復帰支援センター初の卒業式

2009年6月3日、テラ・ルネッサンス初となる社会復帰支援センターの卒業式が行 われました。1期生15名、2期生23名の合計38名による合同卒業式です。

当日、社会復帰支援センターには続々と、生徒たち、そしてその家族が集まりました。 卒業式は、証書授与の他、全員で歌やダンスなどを行いました。そんな彼女たちは互 いに成長を認め合い、その充実感が表情からにじみ出ていました。こんなに明るくて、 優しい表情を、支援開始当初は見ることができませんでした。この日見せてくれた、彼

女たちのベストスマイルは、 皆様のご支援によって行わ れたプロジェクトが実を結ん だと実感させてくれました。 (おがわ)





▲卒業した 1 期生、2 期生の集合写真

卒業証書を持つ2期生の、アチャヨ・マーガレット▲

【コンゴ】グローブハウス皿が完成!

テラ・ルネッサンスは、2007年4月よりコンゴ民主共和国南キブ州、カロンゲ地区でのプロジェクトを、現地NGO「GRAM(グ ラム)」と連携し開始しました。これまでGRAMの組織基盤の強化と活動拠点の整備のため、プロジェクト管理の指導、オフィス 器具の提供を行ってきました。さらに、元子ども兵及び紛争被害者を支援するための施設「グローブハウスⅢ」を、株式会社 アイケイ様のグローブ基金よりご支援を頂き建設しておりました。

この度、2009年6月21日にグローブハウスⅢが完成したと、GRAMのスタッフのテオフィーより報告がございました。この施 設からたくさんの笑顔が生まれる事を願い、生活の糧となる技術の提供に努めたいと思います。(うえはら)

株式会社アイケイ http://www.ai-kei.co.jp/iktop.htm



▲:グローブハウスⅢの建設風景



▲:完成したグローブハウスⅢ

おくていびていいれば~と

2009年7月11日

第三回「頑張らない」チャリティバドミントン大会

7月11日(土)、今年で3回目となる『「頑張らない」チャリティバドミントン大会』が開催されました。参加費やグッズの販売から出た収益が、カンボジアの中学校の屋根の修理費用となる…「スポーツしながら国際貢献を」というスローガンを掲げているこの大会はまさに、好きなことをしながらできる新しい国際協力の形です。

北は北海道、南は鹿児島から全 25 チームの団体にご参加いただきました。もちろんテラ・ルネチームも出場! 今年は例年とは違いました。今まで 1 勝もしたことのなかった私たちが、なんと 2 勝もできたのです。みんなでガッツポーズ! 久しぶりにいい汗を流した 1 日でした。

大会の収益として、主催者の頑張らないバドミントン研究会様からご寄付いただいた金額は、407,087円でした。

今回修復の対象となっている中学校は、カンボジアのバッタンバン州、プレア・ポット村というところにあります。この地域は内戦中に大量の地雷が埋められ、現在も撤去作業が続いています。この村に唯一ある中学校ですが、屋根に穴が開いていて雨が降ると雨漏りし、晴れの日には強烈な日差しのため教室内が蒸し風呂状態になり、勉強に集中することが困難な状況です。国の将来を背負って立つ子どもたちに教育は欠かせないもの。子どもたちには、今回の収益によって修理される屋根の下、よい学習環境で学んでほしいものです。



上:「頑張らない」とは名ばかりで、一生懸命 にシャトルを追うテラ・ルネチーム 下:主催者の代表の須田様から収益を寄付し ていただいている、当会理事長鬼丸

主催者の頑張らないバドミントン研究所の皆様、ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。(あおき)

2009年2月~ 入会キャンペーン 92名の方に入会いただきました!

大切な"あの人"と一緒にテラ・ルネを応援 ~ファンクラブ会員入会キャンペーンのご報告をさせていただきます。

前回の「結晶母」で会員の皆様にお願いいたしましたファンクラブ会員入会キャンペーンに関して、2009年3月から7月末日までに当会にご入会いただいた方は92名となりました。ご紹介いただいた会員の皆様、ありがとうございました。なお、5月末日までにご入会いただいたファンクラブ会員の皆様には「ポストカード」を、当会をご紹介いただきました会員の皆様には、ウガンダの受益者が社会復帰に向けての授業の一環で作成している「ペーパービーズのストラップ」をお送りいたしました。これらはもう既に皆様のお手元に届いていることと存じます。

当会が行っている活動は、会員の皆様方がお寄せくださる会費や個人の方からの寄付に大きく支えられております。世界各地での地雷除去支援、元子ども兵の社会復帰支援を今後も継続的に行っていくためにも、会員の皆様にはぜひ当会及び当会の活動を、身近な方にご紹介いただきたく、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。(まきの)



かえしがせのかえいか

新スタッフ栗田採用&森本退職のご報告

<ご挨拶>

はじめまして。私は NPO 法人 テラ・ルネッサンス新人スタッフの栗田佳典です。テラ・ルネッサンスには、大学3回生の 2007 年8 月からインターンシップ生として参加し、大学卒業までインターンシ



ップを続けました。そして、2009年4月から職員として、日本事務局で、ホームページの管理などの広報、ウガンダ事業の日本国内での対応を担当しています。

<テラ·ルネッサンスで働くに至った理由>

まず、なぜ私がテラ・ルネッサンスにやってきたかをお話したいと思います。実は私、見た目では全くわからないのですが、生まれつきの心臓病です。運動ができる軽度なものですが、将来のためにと大事をとって、13歳の時に手術を行い、その後も年に1回の検診を行っています。私にとって、この手術での経験、出逢いが今後の人生の転換点となりました。

学んだことは「いのちのありがたさ」。命があるということが、決して「あたりまえのこと」ではないということ。それを実感するとともに、家族、友人などの支えによって「生かされている」自分に気づくことができました。それ以降、私は「今までは支えられてきた人生だったので、これからは誰かを支える人生を歩みたい」と考えるようになりました。

そんな思いの下、大学では「国際福祉」を専攻しました。中でも、「いのち」に関わる問題には関心が強く、医療も福祉もままならない、 途上国の問題、中でも特に印象が強かったテーマが、子ども兵の問題でした。

もっと知りたい。そんな思いからテラ・ルネッサンスにインターンを 応募し、採用され、インターンシップ生活が始まりました。インターン 生活を通して、私は日本・ウガンダで多くの方と出逢い、そしてたくさ んの気づきや学びがあり、就職を志願しました。

<高知のネッツトヨタ南国さんにて、新人研修>

正式採用の前、NPO を支援する側の視点に立った組織運営、経営の観点を学ぶため、新入社員研修として、3月24日~4月5日までの約2週間、テラ・ルネッサンスをご支援いただいている、ネッツトヨタ南国さん※にて、研修(インターンシップ)を行ってきました。お客様への対応や展示車の洗車の他、新入社員の方々と自らの過去を振り返り、仕事や人生の目的・目標を話し合いました。短い期間でしたが、みっちりと脳が鍛えられ、働く人たちと話をして、目的を持って、経営する大切さを学ぶことができました。そして、社会人としての自覚と、自分がテラ・ルネッサンスをよりよい団体にしていきたいという主体性を育むことができました。

ネッツトヨタ南国さんには、会社として一番忙しい時期に、快く受け入れてくださいましたことに本当に感謝しています。この2週間での学びを今後の活動に必ず、生かしていきたいと思います。

※ネッツトヨタ南国…高知県高知市に本社を置く、自動車ディーラー。トヨタ自動車系列のディーラーが全国に約300社ある中で、1999年にCS(顧客満足度)調査が開始されてから継続して全国1位を獲得し続けている。2002年には日本経営品質賞を受賞し、2009年1月は自動車販売業界全体が落ち込んでいる中、37%増の売上げを記録。経営理念は「全社員を人生の勝利者にする」。

<今後の抱負>

新卒でこの業界、なかなかチャレンジだと周りから言われますが、 だからこそ、新卒でも、NPO・NGOでも働くことができるという基盤(前 例)を作り、諸先輩方とともにこの業界を盛り上げ、私たちが取り組む 課題の解決に向け、全力で取り組んでいきたいと思います。

私の仕事は、支援者の皆様と現地をつなぐことだと考えています。 映像や写真を駆使して、テラ・ルネッサンスの活動をよりわかりやすく 皆様に伝えられるように努力し、「支援してよかった」と思っていただ ける団体を目指し、精進して参ります。よろしくお願いいたします。

栗田佳典の個人ブログ http://blog.canpan.info/terra-kurita/

スタッフ森本 退職にあたってのメッセージ

支援者の皆様

7月末を持ちまして、テラ・ルネッサンスを退職させていただくことになりました。今まで支えてくださった皆様に深く感謝いたします。とりわけ設立初期からありとあらゆる形でテラ・ルネを、そして私個人を応援してくださった支援者の皆様には、どのようにお礼を申し上げていいのか、感謝の言葉も見つかりません。実績も信用もお金もない私たちに、崖っぷちで必ず手を差し伸べてくださり、まるで母のような存在感にいつも勇気づけられていました。

設立時からスタッフとして関わらせていただいて感じたこと、それは「組織は常に変化(発展)していく」ということです。そしてその段階に適した人材や運営スタイルが求められるということ。思えばこの 8 年間、私はみなさんの想いに触れるたびに、「想いをカタチにする」ことのみを考えて活動をしてまいりました。これからは「カタチになった想い」をどのように継続していくか、また成果をだしていくか、それが問われる段階に入ってきます。想いだけでは成り立たない専門性、客観性、計画性がテラ・ルネに今、求められているのだと痛感しています。

まるで大いなる存在に導かれるように理事長と出会い、会の草創期・成長期を駆け抜けてきました。テラ・ルネでの私の役割はもう果たせたのではないかと感じています。より良いテラ・ルネになるように、そして多くの人々と共にテラ・ルネのビジョンを達成するために、それを成し遂げられる人材に、バトンを託したいと思います。

テラ・ルネッサンス人材育成事業担当 森本のり子

(尚、今後は財団法人京都地域創造基金にて働くこととなりました。事業を通してテラ・ルネッサンスとは関わりを続けてまいります。)

てらるね手帳ホームページ開設&リニューアル!

テラ・ルネッサンスは公式サイトをリニューアルし、支援サイトを新たに立ち上げました!

テラ・ルネッサンスはこの度、2つのサイトを使い分け、皆様に私たちの取り組んでいる課題、支援方法、活動に関して、よりわかりやすく、お伝え していこうと考えております。

まずはテラ・ルネッサンス支援サイト、通称「一歩サイト」がどのようなものかを説明させていてだきます。このサイトは、個人の方、企業・法人の方、 学校関係者・自治体関係者の方々に対して、当会とどう協同していけるかを紹介し、皆様と共に『一歩』を踏み出すための、ヒントを提供することを 目的に開設しています。

『支援に参加』では、「寄付金で支援する」「サポーターになって支援する」「商品を買って支援する」「モノを集めて支援する」という4つのカテゴ リーに分け、テラ・ルネッサンスの支援方法を記載しています。このような形式にした理由は、皆様には自分のできる範囲内で、一歩を踏み出して

いただきたいと思っているためです。ご支援に小さいも大きいもないと私た ちは考えています。尊重したいのは、皆様のその確かな『一歩』です。その 一歩を、当会を通して『二歩、三歩…』へと繋げていってましいという思い から『一歩』というタイトルで支援サイトを開設しました。

テラ・ルネッサンスに興味を持っていただいた方、テラ・ルネッサンスを 通じて一歩を踏み出したい方には特におすすめのサイトとなっております 是非、ご活用ください!

「公式サイト」は主に、当会が取り組んでいる地雷・小型武 器・子ども兵に関しての詳細情報と、その解決に向けた各国で の活動紹介、事務局からのお知らせなどを随時更新していま す。私たちが取り組む課題はもちろん、特に今後重視していき たいことは、私たちスタッフや国内での事業の紹介です。

私たちのような NPO・NGO 業界は、どんな人が、どんな思い で仕事をしているのかが、見えにくいものになっています。支援 者様も私たちも現地で支援を受ける人々も、それぞれがそれぞ れの「顔のみえる」関係作りを目指していきたいと思います。

まだ、作成中のページもありますが、少しでも皆様からのご支 援がどのように繋がっていくかをお伝えすることができるように、 今後も各種コンテンツの整備を進めていきます。

一歩サイトと合わせて、「お気に入り」に登録していただけた ら、幸いです。

http://www.terra-r.jp/





http://www.terra-ippo.jp/

【編集後記】(事務局:ひぐち)

今回で 3 度目の結晶母の編集の仕事となるひぐち ですが、今月末を持ちましてインターンを卒業するこ ととなりました。1年弱という期間でしたが、あっと いう間に日々が過ぎ、気がつけばもうこの結晶母が最 後の仕事です。テラ・ルネでは多くの素晴らしい出会 いがあり、そして多くの貴重な経験をさせていただき ました。本当にありがとうございました。来月から大 学院での勉強がはじまりますが、成長し続けるテラ・ ルネに置いていかれないように、僕も精進して参りた いと思います。

【編集・発行】

特定非営利活動法人 テラ・ルネッサンス

612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町 5-23-105

Tel/Fax: 075-645-1802

E-Mail: contact@terra-r.jp

URL http://www.terra-r.jp

